

図書館員のひみつの本棚 第176回

今月は冬にぴったりの物語です。

『雪の女王』

アンデルセン／作 木村 由利子／訳 朝比奈 かおる／絵 偕成社 2005年

¥1000(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年★★☆ 小中学年★★★ 小高学年★★★ 中学生★★★

高校★★★ 一般★★★

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

悪魔が作った鏡の欠片が目と心に刺さってしまった男の子カイ。雪の女王はそんなカイを自分の国に連れ去ってしまいます。カイの仲良しの女の子ゲルダは、カイを追って世界の果てにある雪の女王の氷の城へと向かいます。170年以上読み継がれている名作。

<子どもに手渡す時のポイント>

アンデルセン童話といえば、「はだかの王さま」や「人魚姫」など誰もが一度は聞いたことがあるお話です。当初アンデルセンの童話集の題名には「子どものための」という言葉が入っていましたが、大人にも童話を読んでほしいと思った彼は、途中からこの言葉を題名からはずします。この「雪の女王」は「子どものための」と題名に書かれなくなった 2 冊目の童話集で発表されました。ぜひ幅広い年齢の子どもに手渡してみてください。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。



発行：福岡市教育委員会 総合図書館 図書サービス課

電話：092-852-0639

FAX：092-852-0801